

ハート基金&いちサポ補助金
いちかわ市民活動サポート制度



いつも新しい流れがある 市川

2022/8月
No.007

活動
特集

「いちサポ補助金」
市民活動に活用

NPO法人
市川にオオムラサキを生息させる会
～ 永続性と信頼を得るための法人化～

市民活動全体に対する総合的な支援に向けて
市は、市民活動団体が行う事業のサポートを行うとともに
「①活動する市民を増やす」
「②市民活動のファンを増やす」
といった市民活動全体に対し、総合的なサポートを行うため
「いちかわ市民活動サポート制度（通称:いちサポ）」を
平成28年度に立ち上げました。

— 掲載項目 —

いちサポ補助金交付団体 活動紹介 / いちかわ市民活動サポート制度について

【特集】いちサポ補助金交付団体 活動紹介



いちサポ補助金

× NPO法人として
持続性と信頼のある活動

市川に オオムラサキを生息させる会

理事長 川添 茂 氏

市内小学校を中心に36年間教職に携わり、令和元年6月に、会の創立者であり前理事長の村井吉和氏から会の運営を引き継ぐ。

国蝶であるオオムラサキが、50年前は市川市にも生息していました。昔の姿をそのまま取り戻すことは難しくかもしれませんが、市内での生殖を目指し、準備期間を経て、2014年にNPO法人格を取得、活動をスタート。

インタビュー

— 会の趣旨やこれまでの経緯は？

川添氏：村井前理事長を中心に、市川市においては1962年以降姿が見えなくなってしまった、**オオムラサキの生息復活を目指し**、市内環境の調査、飼育の試行を重ねる中、飼育に適した環境がわかってきたこと、また、幼虫からの羽化にも成功したことから、飼育に係る基本的なマニュアルを作成することができました。これを機に、市内における組織的な活動を進めていくため、NPO法人格を取得し、会として設立した形です。

活動のアレコレ！
ご本人にお聞きしました！

— 法人格を取得するに至った判断とは？

川添氏：国蝶を扱うという責任感はもちろんのこと、50年前に失われた環境を取り戻すには、同じくらいあるいはそれ以上の時間が必要かもしれません。つまり、組織としても長期的な活動を見据えなければならぬということになります。そのためには、**仲間を集め、教育し、持続性を持たせることが必須**となり、また、活動を進め、継続していくにあたっては、仲間はもちろんのこと協力いただく方々に対する**透明性や信頼性も重要**であると考え、法人格の取得に至ったと聞いています。

— 活動をするうえでの法人格のメリットは？

川添氏：現在、私たちは、市川市立自然博物館、市内の小学校ならびに幼稚園の協力を得て、オオムラサキの飼育活動を通して、環境改善と保全の必要性に気付いていただけるよう取り組みを行っています。この取り組みに、公的機関や教育機関にご協力いただけるのも、NPO法人として認証を受けた団体＝信頼のある団体であるという認識をいただけることがひとつの要素としてあると思います。引き続き今後も、**法人格としての信頼ある活動を続けて行きます。**

補助金の流れ

対象：NPO法人や任意団体

<活動の計画>

年間の活動を会員みんなで検討し、計画を立てます。
また、補助金の活用についても検討します。

<補助金の申請>

補助金を受ける目的、活動することで地域にどれだけの利益をもたらすことができるかを申請書でPRします。

<補助金の活用>

実際の事業・活動に必要な経費に対し、補助金を充当することや、これまでから拡充した経費に充当することで、充実や発展を目指します。

本冊子ご紹介の団体での活用例

交通費	移動に係る交通費
消耗品費	飼育に係る飼料代
印刷製本費	学習用資料作成費

<実際の活動>

活動計画や補助金申請の際に記載した事項に則り、実際の活動を行います。

<活動実績の報告>

活動の報告、補助金を活用した費目に係る収支決算書を作成し、実績の報告を行います。

<補助金の受取>

実績報告後、確定した補助金額を市から受け取ります。
※概算払で事前に受け取っていた場合、差額の返金が必要となることもあります。



■ 詳しい内容については「補助金ガイドブック」をご覧ください
ボランティア・NPO課の窓口でお渡し、または市公式Webサイトからもご覧いただけます。

いちかわ市民活動サポート制度とは？

NPO法人はもちろん、
任意団体まで幅広く応援します

【市民活動を支える2本柱】

1. 市川市市民活動総合支援基金（愛称：市川ハート基金）
→ 市民からの寄附で市民活動団体を支えるしくみ
2. 市川市市民活動団体事業補助金（通称：いちサポ補助金）
→ 社会貢献に係る事業費への補助をするしくみ

1. いちかわハート基金 の流れ

市民等から
の
ふるさと納税

企業等から
の
指定寄附

いちかわハート基金

使い道の一例

① 団体への備品貸出

市民活動団体がイベントで使用する備品を市が購入し、貸出ます。

簡易テント、スピーカー、マイク、
プロジェクター、PC など

② 活動センターの充実化

作業スペースの充実化として、PCの設置や裁断機、紙折り機等の設置しています。

印刷機も設置し、費用を抑えて印刷することができます。

③ 活動支援講座の開催

財政面、チラシの作成など、講師を招き、団体向けに講座を開催しています。

2. いちサポ補助金 の流れ

市民活動団体からの申請

審査会等での審査

市民活動団体が実施する
社会貢献活動の事業費用
の一部を補助します

事業の考え方

- ・自主的自発的に行われるもの
- ・市内において実施するもの
- ・営利を目的としないもの
- ・市民を主たる対象とするもの
- ・地域の課題、問題が解決されるもの

*対象経費の1/2

*上限30万（3回まで）

*4回目以降は別途審査

